

Istanbul Weekly vol.7-no.

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年9月28日（金）

— 今週のポイント —

政治：地方選挙に向けた AKP・MHP の政党間同盟の動きが加速。

エルドアン大統領、国連総会で演説。

経済：アルバイラク財務相、「新経済プログラム」発表。

第 24 回日トルコ合同経済委員会、イスタンブールで開催される。

エルドアン大統領、イランの天然ガスの購入継続を示唆。

治安：警察が ISIL のアダナ県責任者とされる容疑者 1 名を拘束。

警察がアル・カーイダに合流するためトルコに滞在していた仏国籍 1 名を拘束。

社会：カドウキョイ区がタイムアウト紙の「世界で最も素敵な地区上位 50 位」に選出。

お洒落な女性の自転車ツアー開催。

政治

【内政】

●地方選挙に向けた AKP・MHP の政党間同盟の動きが加速

20 日、バフチェリ MHP 党首は、2019 年 3 月に予定される地方選挙で、MHP としてイスタンブール市長候補を擁立しないと発表した。この発言を受け、25 日には、オズハセキ AKP 副党首とドウルマズ MHP 副党首が会談し、両副党首は、地方選挙でも政党間同盟を継続していくことで合意に至った。（9 月 26 日付け C 紙 4 面他）

●大統領顧問にイスマイル・ジェスル氏が任命

22 日、大統領令により、イスマイル・ジェスル氏が新たな大統領顧問に任命され、官報に掲載された。ジェスル氏は、英国レディング大学を卒業し、2012 年に首相府顧問として勤務した後、2014 年から大統領府で専門官を務め、エルドアン大統領の SNS アカウントの管理などを担当していた。（9 月 23 日付け M 紙 14 面）

●MHP、政治的恩赦の提案を国会に提出

24 日、MHP は、本年 6 月の国会議員選挙の公約としていた女性や子供に対し搾取を行った者や PKK 及び FETO の構成員を除く被拘留者に対する政治的恩赦に関する法案を国会に提出した。同日、ユルドゥズ MHP 副党首は、同法案が法律化された場合、恩赦の対象者 16 万 2,898 人の罪が条件付きで減刑され、その結果、執行されるべき罪がなくなった拘留中の者と有罪宣告を受けた者は釈放されると明らかにした。（9 月 25 日付け C 紙 4 面）

【外交】

●エルドアン大統領、国連総会で演説

24 日、エルドアン大統領は、ニューヨークで開催された第 73 回国連総会に出席した。総会での演説で、エルドアン大統領は、

世界で化学兵器よりも通常兵器によって命を失っている人々の方が多いと指摘し、「いかなる兵器も禁止されなければならないが、多くの国はほとんど行動を起こしていない。」と批判した。また、多くのパレスチナ市民がイスラエルに殺害されていると強く批判した。（9 月 14 日付け M 紙 14 面）



（写真は、9 月 26 日付け M 紙インターネット版から）

●チャヴシュオール外相：シリア危機の負担はトルコに課せられた

24 日、チャヴシュオール外相は、国連総会での「難民のための国際協定」のセッションで演説を行った。演説で、チャヴシュオール外相は、トルコが難民問題に 320 億米ドルを費やしてきたことに言及しつつ、「シリア危機の負担はトルコに課せられたが、我々は、人道的アプローチを続けてきた。」と述べた。一方で、「先進国は難民と移民問題のための持続可能な解決策を見つけなければならない。」と懸念を示した。（9 月 25 日付け M 紙 14 面）

●エルドアン大統領：トルコの経済危機は米国籍牧師とは関係がない

26 日、エルドアン大統領は、国連総会後にロイター通信に行ったインタビューで、FETO に関与した容疑によりトルコで拘束中の米国籍のブランソン牧師に関する記者の質問に対し「ブラ

ンソン牧師と我が国の経済とは関係ない。我が国の経済危機は誇張されているようなものではない。トルコはこの危機を自力で乗り越える。」と答え、経済危機と拘留中の牧師の問題には何らの関係もないことを強調した。(9月27日付けC紙5面)

経済

【マクロ経済・経済政策】

●アルバイラク財務相、「新経済プログラム」発表

20日、アルバイラク財務相は「新経済プログラム」を発表し、2018年の経済成長率予測を5.5%から3.8%に切り下げ、2019年は2.3%とし、インフレ率予測を2018年は20.8%、2019年は15.9%とした。同相は、経済の穏やかな成長を目指すとし、2021年以降に5%の経済成長率を達成すること、財政規律を遵守すること及び長期的に付加価値の高いものの生産及び輸出能力を高めることが同プログラムの主軸であるとした。また、財務省内に、他の省庁からのメンバーも含む「公共金融転換・変革局(オフィス)」を設立したと発言した。(9月21日付けHDN紙1面及び10面)

●フィッチ、トルコのGDP成長率予測を下方に、インフレ率予測を上方に修正

21日、国際格付け機関のフィッチは、トルコの2019年のGDP成長率予測を3.6%から1.2%に切り下げ、インフレ率予測を2018年末時点で20%とし、2019年はこれまでの予測の10.8%から15%に上方修正したと発表。フィッチは同発表において、向こう1年を通じてトルコの経済活動が減速する一方で、インフレ率は10%台に留まるとした。また、9月13日の政策金利の引き上げは直近のトルコリラの下落圧力を緩和するが、インフレ率を低水準に抑えるためには長期的に高金利を維持する必要があると指摘し、対1米ドルのトルコリラ相場は6.2付近に落ち着いていくであろう、との見通しを述べた。(9月21日付けHDN紙インターネット版)

●ソメズ GM:「トルコ・ウェルス・ファンドはエルドアン大統領が運営」

19日、イスタンブール金融サミットの中で、新たにトルコ・ウェルス・ファンドの総支配人(GM)に指名されたザフェル・ソメズ氏は、同ファンドはシンガポールのテマセク、マレーシアのカザナ・ナショナル、ロシアのロシア・ダイレクト・インベストメント・ファンド(RDIF)のような国際ブランドになると述べた。また、ソメズ総支配人は、全ての政府系ファンドは各国の政治指導者によって運営されているとし、トルコの場合もエルドアン大統領が運営していくと発言した。(9月21日付けHDN紙10面)



(写真は、9月20日付けHDN紙インターネット版から)

●競争庁、グーグルに1,500万米ドルの罰金を決定

20日、トルコの競争庁はグーグルに対し、携帯用ソフトウェア販売により競争法に違反したとして、9,300万トルコリラ(1,500万米ドル相当)の罰金を科したと発表。また、競争庁は、グーグルLLC、グーグル・インターナショナル及びグーグル広告社に対し、違反状況の是正期間として6か月間を与えたと発表した。グーグル側は60日以内にアンカラ行政裁判所において控

訴が可能。(9月21日付けHDN紙11面)

●アルバイラク財務相:「政府は必要があれば銀行を支援する」

24日、エルドアン大統領の国連総会出席に同行したアルバイラク財務相は、トルコの政府債務残高の対GDP比率は、世界各国の平均値よりも低い約26%であり、民間債務の対GDP比率も全途上国の平均値よりも低い約65%であることに言及しつつ、トルコは良好なマクロ経済指標を維持していると強調した。また、必要ならば、政府は市中銀行を支援する用意があると発言した。(9月26日付けHDN紙11面)

●エルドアン大統領、利上げはトルコ中央銀行の独立性の象徴

26日、エルドアン大統領は、(13日の政策金利の6.25%の引き上げに関して)トルコ中銀による政策金利の引き上げは、中銀の独立性を示す明確な象徴であるが、大統領として、高金利は望むところではなく、企業や投資家の利益に悪影響を及ぼしていると述べた。(9月27日付M紙14面)

●イスタンブール、都市別で所得分配不平等率が最大

24日付けのトルコ統計庁(TUIK)の発表によれば、2017年のトルコ各都市のジニ係数(当館注:ジニ係数とは、社会における所得分配の不平等さを測る指標であり、0から1の間で、指数が大きいほど所得分配の不平等さが示される。)が最大となった都市はイスタンブールで0.443であった。トルコ全土の平均ジニ係数は0.405。県別で見ると、最も低い値を記録したのがトルコ東部のエルズルム、エルジンジャン及びバイブルト各県の約0.290であった。(9月25日付けHDN紙4面)

●自動車の特別消費税(OTV)減税

24日付けの官報に掲載された大統領令によれば、自動車の特別消費税(OTV)は、これまでの税率より約3.3%から7.8%減税される。税率は排気量や価格に応じて下表のとおり改定される予定である。(9月25日付けH紙7面他)

ガソリン車及びディーゼル車

排気量	(旧)販売価格	(新)販売価格	OTV率
1,600cc	46,000TL 以上	70,000TL 以下	45%
1,600cc	46,000 ~ 80,000TL 以上	70,000 ~ 120,000TL	50%
1,600cc	80,000TL 以上	120,000TL 以上	60%
1,600 ~ 2,000cc	114,000TL 以上	170,000TL 未満	100%
1,600 ~ 2,000cc	114,000TL 以上	170,000TL 以上	110%
2,000cc 以上	114,000TL 以上	170,000TL 以上	160%

ハイブリット車

電力・排気量	販売価格	OTV率
50kW 以上	80,000TL 以下	45%
1,800cc 以下	80,000 ~ 135,000TL	50%
	135,000TL 以上	60%
100kW 以上	170,000TL 以下	100%
2,500cc 以下	170,000TL 以上	110%

(表は、9月25日付けH紙に基づき当館作成)

【経済外交】

●第 24 回日トルコ合同経済委員会、イスタンブールで開催される

19 日、イスタンブールにおいて第 24 回日本・トルコ合同経済委員会が開催され、ヴァランク産業科学相は、「遅くとも 2019 年上半期までにトルコ・日本間の自由貿易協定(FTA)交渉を終結させることを目指す。」と発表した。また、同委員会では、両国がより一層の協力関係を強化する宣言に署名がなされた。(9 月 19 日付け Daily Sabah 紙インターネット版)



(写真は、9 月 19 日付け Daily Sabah 紙インターネット版から)

●アルバイラク財務相:「トルコは独との関係強化に努める」

21 日、アルバイラク財務相は、訪問先のベルリンにおいて、オフラ・ショルツ独副首相兼財務相、ピーター・アルトマイヤー独経済・エネルギー相と会談した。会談後の記者会見において、アルバイラク財務相は、両国関係は新たな局面に入っており、数日中に両国が戦略的協力に向けたより強い政策に踏み出すことを固く信じていると発言した。なお、エルドアン大統領は 28 日及び 29 日にベルリンを訪問する予定である。(9 月 22 日付け HDN 紙インターネット版)

●エルドアン大統領、イランの天然ガスの購入継続を示唆

25 日、国連総会出席のためニューヨークを訪問中のエルドアン大統領は、(イランからの天然ガス輸入に関して)我々は現実的になる必要があり、イランからの天然ガスを輸入できなければ、凍えるような冬に、我が国民をどのように暖めることができようかと述べ、イランからの天然ガス購入を継続する旨示唆した。(9 月 27 日付 HDN 紙 11 面)

【産業】

●国産ヘリコプターのエンジン、試験成功

防衛産業庁の協賛の下、TUSAS モーター産業社(TEI)によって実施されている国産ヘリコプター「T625」プロジェクトは、コアエンジンの製造を完了して最初の点火が成功するところまで進行している。「T625」ヘリコプターは 2021 年上半期に初飛行を行う計画となっている。(9 月 24 日付け HDN 紙 11 面)

治安

【ISIL 関係】

●警察が ISIL のアダナ県責任者とされる容疑者 1 名を拘束

24 日、警察は、アダナ県の私立病院において、ISIL の同県責任者とされる容疑者 1 名を拘束した。同人は、警察の捜査をかわすため、電話を使用せず、クーリエを使ってシリアの ISIL からの指示をトルコ国内の ISIL メンバーに伝達していた。(9 月 24 日付け HDN 紙インターネット版)

【AQ 関係】

●警察がアル・カーイダに合流するためトルコに滞在していた仏国籍 1 名を拘束

24 日、警察は、アル・カーイダに合流するためトルコに入国した容疑で拘束されていたフランス人女性を国外退去処分にする」と発表した。同人は、メッセージアプリ「テレグラム」でアル・

カーイダのメンバーと接点を持ち、トルコに入国して、イスタンブールに潜伏し、シリア国境に近いアダナ県に向かおうとしていたところ、バスターミナルで拘束された。

(9 月 24 日付け S 紙インターネット版)

【FETO 関係】

●治安機関が FETO 容疑で現役軍人 85 名を逮捕

21 日、治安機関は、FETO 容疑者として逮捕状が発付されていた現役軍人 110 名のうち 85 名を逮捕した。逮捕者には大佐 3 名、中佐 2 名、部隊長 6 名等の軍幹部が含まれており、残りの 25 名についても行方を追っている。(9 月 21 日付け HDN 紙インターネット版)

【その他】

●内務省発表:1週間で不法移民1,210名を拘束

22 日、内務省は、14 日からの 1 週間で、イズミル県、メルスィン県、チャナッカレ県、ムラサ県等において、不法移民 1,210 名を拘束したと発表した。(9 月 22 日付け HDNV インターネット版)



(写真は、9 月 22 日付け HDN インターネット版から)

社会

●トルコ南東部アシ川にて大量の死魚

22 日、トルコ南東部ハタイ県を流れるアシ川と地中海の合流地点で、何千匹もの死魚が浮いているのが発見された。死魚及び海水サンプルを採取し原因調査を行った専門家や農業・森林省によれば、魚の死因は、工場排水や有毒廃棄物によるものではなく、灌漑ダムの開閉の影響で水量及び酸素量が急激に変化したことによる。(9 月 24 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、9 月 24 日付け HDN 紙インターネット版から)

●アイドゥン県の古代都市ニサにてモザイク床の遺跡発掘

トルコ西部アイドゥン県の古代都市ニサで、4 世紀のものと思われるモザイクの床が発掘された。ヘレニズム時代に建設された古代都市ニサは、ローマ時代とビザンティン時代には多くの人が住み、古代貿易のルートの一つであった。発掘作業は 1990 年からアンカラ大学が行ない、1998 年からはヤシャル教育文化財団も支援している。発掘隊長のオズタネル准教授によれば、モザイクの床があった建物には、長さ 25 メートル、幅 5 メートルの大広間があり、モザイクは南側の浴室と西側のローマ式邸宅の間にあったとされる。(9 月 20 日付け HDN 紙インターネット版)



(写真は、9月20日付け HDN 紙インターネット版から)

●ボスポラス海峡沿いの邸宅 60 軒が売出し中

ボスポラス海峡沿いの邸宅 60 軒が売りに出ている。海峡沿いの邸宅はアジア側とヨーロッパ側合わせて 600 軒。価格は、立地、歴史的価値、ドックの長さにより決まり、邸宅としては 450 万ドルから 9,500 万ドル、邸宅アパートの一室の価格としては 175 万ドルから 1,200 万ドルで売られている。ヨーロッパ側ではベベッキ、イエニキョイ、アジア側ではバニキョイ、カンディリ、アナドルヒサル邸宅の価値が高い。トルコリラの下落を受け、海外、特にアラブ諸国からの買い手が多いのが目立つ。海峡沿いの建造物は、復興局の許可なしに一切手を加えることができないため、購入に当たっては、ボスポラス海峡復興局及び記念碑事務局で事前調査を受けることを推奨している。(9月25日付け H 紙)



(写真は、9月25日付け H 紙インターネット版から)

●カドゥキョイ区がタイムアウト紙の「世界で最も素敵な地区上位 50 位」に選出

アジア側カドゥキョイ区が、タイムアウト紙による「世界の最も素敵な地区リスト」の上位 50 位内に選ばれた。記事では、「カドゥキョイには数多くのバー、レストラン、デザインショップが立ち並び都会の生活を感じることができると同時に、モダの遊歩道やマルマラ海の眺めなどヨーロッパ側よりも穏やかな雰囲気も味わうことができると記載。他には、谷中(日本)、マドリッド、ソウル、アテネなど各都市にある地区が名を連ねており、同紙編集者、専門家、1 万 5,000 人の読者により選出された。(9月25日付け HDN 紙)



●お洒落な女性の自転車ツアー開催

9月23日、イスタンブールで、トルコの 60 都市以上から何千人もの女性が集まる自転車ツアーが開催された。女性たちが着飾り、飾り立てられた自転車で通りに繰り出すことで、女性の社会進出、自転車を利用しやすい都市整備を行政に促すことになるとして、2013 年以来毎年開催されている。ツアーは、午前 11 時ごろにカドゥキョイ区のジャッデポスタンを出発し、ギョズテペ公園を目指した。この催し物は、起案者である歴史教

師セマ・ギュル氏が、2013 年、EU の「モビリティ・ウィーク」の一環として行われる恒例のカー・フリー・デーに合わせ、仲間に呼びかけ意識啓蒙のイベントを企画したのが始まりである。ツアー参加者はその後毎年増加し続け、今では恒例行事となっている。(9月25日付け HDN 紙)

●60 万人以上のシリア人児童が 2018 年度トルコ教育システムに登録

文部省のデータによると、60 万人以上のシリア難民の学齢期児童が 2018-2019 年度のトルコ教育システムに登録された。トルコには、現在 104 万人のシリア難民の学齢期児童がいる。シリア難民児童は、トルコの公立学校又は暫定的な教育センターに登録されるが、トルコ政府は、2016 年にシリア人児童をトルコ教育システムに融合させる施策(PICTES)を打ち出し、暫定的教育センターを閉鎖してシリア人難民児童をトルコの公立学校へ移行させることを試みている。過去 2 年間で 39 万人のシリア人児童にトルコ語の集中教育が提供された。(9月27日付け HDN 紙)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITQ	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Habertürk
D	Dünya	IA	İhlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.9.27 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	0件	8件	0件	2件	0件	13件	0件	4件

★当館 HP 更新のお知らせ★

[日本トルコ婦人友好文化協会イスタンブール支部に対する外務大臣表彰式の開催 \(09/27\)](#)

[江原総領事のヤロヴァ市訪問 \(09/24\)](#)

[江原総領事のブルサ県訪問 \(09/24\)](#)